

イーストスプリング・インベストメンツが 「アジア債券市場に関する投資家意識調査」を発表

NEWS RELEASE

～ 世界の投資家はアジア債券に対して依然として強気であることが判明 ～

(2021年10月26日、シンガポール) - 世界有数の金融サービスグループを展開する英国ブルーデンシャル社* (以下、最終親会社) のアジアにおける資産運用事業部門であるイーストスプリング・インベストメンツ (以下、イーストスプリング、運用資産総額約28兆円**) が委託し実施したグローバル調査によると、市場のボラティリティーが高まっているにもかかわらず、世界の投資家はアジアの債券、特に中国の債券に対して強気であることが明らかとなりました。また、グローバルの回答者の3分の2が、今後1年以内にアジア債券へのエクスポージャー (投資割合) を増やす可能性がある、と回答しました。

Eastspring Investments Limited
Marunouchi Park Building, 2-6-1 Marunouchi
Chiyoda-ku, Tokyo 100-6905
www.eastspring.co.jp

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社
〒100-6905 東京都千代田区丸の内 2-6-1
丸の内パークビルディング
www.eastspring.co.jp

本調査のホワイトペーパーであるイーストスプリングの「アジア債券市場に関する投資家意識調査」は、Institutional Investor 社と共同で作成したもので、アジアの債券に対する投資家の意識や嗜好を明らかにしています。本ホワイトペーパーは、2021年7～9月にかけて、アジア、欧州、北米の機関投資家およびホールセール投資家の投資意思決定者、約200名を対象に実施した、定量的・定性的な総合調査に基づいています。

今回の調査では、世界の経済成長とインフレ見通しが不透明な中、グローバルな回答者の間で、新しい債券セグメントへの分散と拡大への関心が高まっていることが浮き彫りになりました。全回答者の70%以上、アジアでは81%が、アジア債券について、アジアの強い経済ファンダメンタルズを反映して、先進国市場の債券よりも高いリスク調整後リターンを提供することが多いと考えています。

今回の調査結果について、イーストスプリング・ポートフォリオ・ストラテジーズ責任者である Ooi Boon Peng は「アジアは今後も世界の成長エンジンとして期待されており、アジア債券への需要は、インフラギャップ、人口動態の変化、持続可能な成長を支えるための債券発行による資金調達支援というアジアの構造的なニーズによって今後も高まり続けることでしょう。すでにアジアの投資家の間では、アジア債券に対するホームカントリー・バイアス (自国資産への偏重) が見受けられますが、成熟を遂げ多様性を有するアジア債券市場は、新たな魅力的な投資機会を提供し続けています。」と述べています。

また、アジア債券の投資割合を増やしたいと考えているグローバルの投資家のうち、68%がアジアのソブリン債に投資する可能性が最も高く、46%がアジアの投資適格債を支持しています。これは、制度的安定性の向上と、アジアの債券投資の魅力的な利回りが大きく影響しています。

さらに、グローバルの回答者の大多数（63%）が、中国債券ファンドを今後2年間のポートフォリオに「適切である」と回答しているのは、このアセットクラスのインカムゲインの魅力によるものです。なお、グローバルの機関投資家の回答者の56%が中国債券に強気（楽観的）であるのに対し、ホールセール投資家の場合はその数値が61%となっています。しかし、中国債券ファンドへの投資は適切であると考える人の約30%は、流動性や価格変動性への懸念が足かせになっていると回答しています。グローバルの回答者のうち40%が中国債券に既に投資中であり、37%が今後24ヵ月以内に投資する可能性があるとしています。

投資家の抱く懸念についても解明

今回の調査データによると、グローバルの投資家は、アジアの発行体、規制当局、市場参加者が、豊富な情報、高い透明性、流動性の高い債券投資の場を提供するために、まだ改善の余地があると考えているようです。

回答者全体の42%が、コーポレート・ガバナンス、データの質と透明性、レポーティング基準に関する懸念を、アジアの債券資産への投資の主な制約要因としており、39%が流動性の問題を挙げています。さらに38%が外部の資産運用会社からアジア債券の適切な運用戦略を提供してもらえない、点を指摘しています。

アジア債券への投資のために資産運用会社を選択する際、本調査の回答者は、投資プロフェッショナルとそのチームの才能、対応力、専門性を主に考慮して決定しているようです。グローバルの回答者が最も重視しているのは、アジアの債券市場に関する国や市場に特化した知識と専門性の高さ（91%）であり、次いで、カスタマイズされた債券ソリューション提供能力（86%）でした。

イーストスプリング・インベストメンツ・グループのCEO（最高経営責任者）である Wai-Kwong Seck は「アジア債券市場の多様性を考えると、現地での強い存在感に加えて、充実した調査・分析能力を持つことが重要です。イーストスプリングは、シンガポール、インドネシア、マレーシア、タイ、ベトナム、中国、台湾、韓国、日本に加えて、合併会社を通じてインドにも拠点を持つ、アジア最大級の債券運用会社です。私たちはアジア債券に関する深い知識と現地市場に根差したサービスの提供が可能です。」と述べています。

その他の主な調査結果は以下の通りです。

- アジアの回答者は債券ポートフォリオに最も大きな影響を与えるマクロ経済要因として、インフレ率の上昇、コロナ後の不透明なGDP成長率、中央銀行のテーパリングへの懸念、を挙げています。
- アジアの回答者の68%が、今後2年間（24ヵ月間）で保有債券の分散化と新しい市場での新しい債券クラスの保有拡大を目指している一方で、66%が債券エクスポージャー全体の削減を見込んでいる、と回答。
- 現在、アジアの回答者の50%は汎アジア債券に投資を行っています。また、77%はアジアの国別、市場別に特化した投資を行っている、と回答。
- アジアの回答者の67%は、今後1年間（12ヵ月以内）にアジアの債券の保有を増やすと予想しており、11%は今後2年間（24ヵ月以内）で増やす可能性がある、と回答。
- アジアの回答者の42%は、今後24ヵ月間のアジア債券への投資戦略として、ESG債券ファンドが適していると考えているが、一方で50%は、その入手可能性（可用性）などが大きな制約になっている、と回答。
- グローバルの機関投資家の回答者は、アジア債券への投資においてアクティブ戦略を明確に選好しており、ハイ・コンビクション戦略、ターゲット・リターン戦略、レラティブ・リターン戦略等を支持。

本ホワイトペーパーのダウンロードおよび詳細については、こちらの[リンク](#)をご覧ください。

以上

*英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国の M&G 社の子会社であるブルーデンシャル・アシユアランス社とは関係がありません。

**2021年6月末時点。

【イーストスプリング・インベストメンツについて】

イーストスプリング・インベストメンツは約 2,540 億米ドル（約 28 兆円、2021 年 6 月末時点、1 米ドル = 110.580 円）の運用資産を有するアジア最大級の資産運用会社です。

イーストスプリング・インベストメンツは日本をはじめシンガポール、香港、韓国、インドネシア、マレーシア、タイ、台湾、ベトナム、ルクセンブルグ、米国、英国で資産運用事業を展開し、さらに中国、インド、香港では合併事業を行っています。現在では 14 のマーケットで資産運用事業を展開しています。

イーストスプリング・インベストメンツは、国際連合から支持を受ける責任投資原則（PRI）の署名機関として、投資責任原則に基づく ESG を投資決定プロセスに導入することに取り組んでいます。

私たちのパーパス “Experts in Asia. Invested in Your Future.”

アジア投資のエキスパートであること、アジアを拠点とするグローバル投資のエキスパートであること。そして、これまでもこれからも、人々の未来に貢献することが私たちに託された使命であると考えています。

イーストスプリング・インベストメンツの詳細についてはこちらをご覧ください。 www.eastspring.com

【最終親会社について】

イーストスプリング・インベストメンツの最終親会社は、170 年以上の歴史を有し、アジア・アフリカ地域を中心に金融サービス業務を提供しています。ロンドン、ニューヨーク、香港、シンガポールの証券取引所に上場しています。

【イーストスプリング・インベストメンツ株式会社 会社概要】

- ◆ 設立： 1999 年 12 月
- ◆ 資本金： 6 億 4,950 万円
- ◆ 住所： 東京都千代田区丸の内 2-6-1 丸の内パークビルディング
- ◆ 登録番号： 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 379 号
- ◆ 加入協会： 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
- ◆ ホームページ： <https://www.eastspring.co.jp/>
- ◆ 運用資産残高： 約 4,125 億円（2021 年 6 月末日時点）

【本ニュースリリースに関して】

※当資料は、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。

※当資料は、投資勧誘を目的とするものではありません。

投資信託のお申込みに関してご留意いただきたい事項

- 当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。
- 当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式等について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。
- 当資料では、外国籍投信に言及することがありますが、当該外国籍投信の売買の推奨・勧誘を行うものでもありません。
- 当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

投資信託に係る費用について

投資信託では、一般的に次の手数料・費用をご負担いただけます。その料率は投資信託毎に異なりますので、詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面をご覧ください。以下は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が設定・運用する全ての投資信託のうち、投資者のみなさまにご負担いただく各費用における最高の料率を記載しています。

- 購入時手数料〔**最高料率 3.85% (税込)**〕：投資信託の購入時におけるファンドや関連する投資環境の説明および情報提供、購入に関する事務手続き等の対価として、販売会社にお支払いいただくものです。
- 信託財産留保額〔**最高料率 0.3%**〕：投資信託の換金時に直接ご負担いただくものです。
- 運用管理費用（信託報酬）〔**実質最高料率 年率1.98% (税込)**〕：純資産総額に対して一定の料率を、信託財産を通じ間接的にご負担いただくものです。
- その他の費用・手数料：信託事務の処理等に要する諸費用（監査費用、目論見書および運用報告書等の印刷費用、公告費用等）、組入有価証券の売買時の売買委託手数料、外国における資産の保管等に要する費用、信託財産に関する租税等についても、信託財産を通じ間接的にご負担いただけます。

※その他の費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を表示することができません。

※上記費用の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

投資信託のお申込みに関してご留意いただきたい事項

- 投資信託は、預貯金および保険契約ではなく、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護および補償の対象ではありません。また、登録金融機関で取扱う場合、投資者保護基金の補償対象ではありません。
- 過去の実績は、将来の運用成果を約束するものではありません。
- 投資信託は、株式、公社債等の値動きのある有価証券（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、ご購入時の価額を下回ることもあり、投資元本が保証されているものではありません。これらに伴うリスクおよび運用の結果生じる損益は、すべて投資者のみなさまに帰属します。
- ご購入の際は、あらかじめ販売会社がお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等（目論見書補完書面を含む）の内容を必ずご確認のうえ、投資のご判断はご自身でなさいますようお願いいたします。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号

加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会